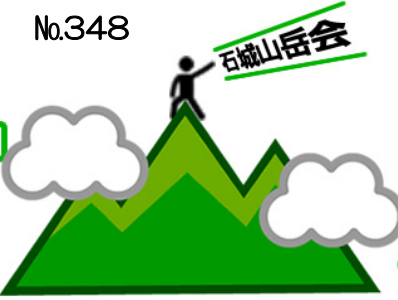


月報 2020年 1月31日 No.348

1月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

第14回いわき七峰縦走を歩って

2020 太平山神社初詣、関東百名山「太平山・晃石山」

鰐滝 563.6m

伊吹山

竜子姫伝説の「竜小山（920.5m）」

「吾国山、難台山」

月山、二段の滝

差塩三十三観音めぐり「良々堂山」

第 14 回 いわき七峰縦走を歩って

12月1日 良い天気☀

久しぶりの山です。

仲の良いお友達と登ったり、下りたり、10km

お昼をゆっくり食べて、のんびりし過ぎて、一番最後になってしまいました。

ゴールはブービーでした。でも、完走出来て幸せです。

いわきの山も素晴らしい、ぜひぜひ来年も参加したいですね。

藁谷 ミサ子



2020 太平山神社初詣、関東百名山「太平山・晃石山」

2020年1月4日（土） 太、山縣、菊地、西、二瓶

令和になっての初詣を太平山神社にて行い、新春の関東百名山「太平山・晃石山」を登った。

太平山中腹の謙信平に駐車し、遠く広がる関東平野を眺める。筑波山から東京都心、丹沢だろうか遠くの山越しに富士山までよく見えた。遠くてシルエットだったが、都心ビル群から少し離れたスカイツリーも確認できる。冬の朝、ほぼ快晴で空気が澄み、景色は最高。

まずは太平山神社を目指す。「路傍の石」作者の山本有三の文学碑に立ち寄り、少し先の朱い随神門をくぐる。門は、神仏混淆の名残で入口表に左右大臣、裏に金剛力士がいて、守護者が4体。栃木市の文化財とのこと。門の先の石段を登ったところが太平山神社。境内は、老若男女、二人連れやスポーツ青少年達で賑わっていた。さっそく我々も参拝し、御朱印などをいただく。

ひと休みして、神社右手の登山道をいくと、樹林の中、奥宮（石の祠）がひっそりとたたずむ。その先、急になった道を登り切ると「富士浅間神社」があり、裏手の一段高いところが山頂。周囲を樹木で囲まれ、眺望はきかない。「太平山」と書かれた木札の前で集合写真を撮り、晃石山へ向かう。

樹根が浮き出た急斜面を下ると、すぐに「ぐみの木峠」で、林道に出合う。少し先の無線塔に続く（管理用？）道路だが、謙信平の茶店の裏にゲートがあって一般車両は通行できない。

再び登山道に入り眺望の良いピーク、パラグライダー離陸場などを過ぎていくと、晃石山との晃石山神社の分岐に到着。まずは晃石山神社にお参りし、社の右手を登って、晃石山の山頂。一等三角点と祠がある。うっすら雪化粧した日光男体山、女峰山など望め、こちらの眺めは良好。

帰りは、来た道を戻り、ぐみの木峠からは先ほどの林道を通して謙信平に着いたが、良縁を求めて「縁結びの鳥居」をくぐってから、再び太平山神社の境内、随神門を通り、駐車場所に戻った。

（文責：太）

コースタイム

1/4(土)

8:33 謙信平→8:48 山本有三文学碑→8:54 随神門→9:01 太平山神社→9:21 奥社→9:35 富士浅間神社（太平山山頂）→9:58 ぐみの木峠→10:20 駒形石（駒の爪）→10:29 パラグライダー離陸場→10:38 晃石山神社→10:57 晃石山→パラグライダー離陸場→駒形石（駒の爪）→ぐみの木峠→電波塔管理道→謙信平→12:01 天狗の投石・縁結びの鳥居→12:10 太平山神社→12:08 太平山神社→12:21 謙信平



鰐滝 563.6m

2020年1月5日 秋葉信夫、下山田安廣

いわき市内の三角点を調べていたら遠野町入遠野往生山の西に「鰐滝 563.56m」という三等三角点があった。山の頂上なのに「滝」とはどういうことなんだろうと疑問に思った。例年だとこの時期はスキーに行っているが今年は雪不足でスキーに行けないのでこの機会に行ってみることにした。

入遠野に入り、往生山の見えるところに来ると「鰐滝」を望むことができた。



遠野オートキャンプ場を過ぎ入定のバス停から貝那夫地区に入り、入遠野ダムに向かって進む。最後の民家を過ぎると悪路になったので車はここまで。

林道を歩き、入遠野ダムを過ぎ、大滝橋の先の藪交じり林の尾根に取り付く。だんだんと倒木も多くなり、中々の急登に汗ばむ。そのうちに雪もちらついてきた。



登り詰め頂上への尾根に着き、少し下り登り返すと三等三角点があった。残念ながら雪で展望は利かない。他の里山と同じような藪の中の三角点で「鰐滝」を連想させるものは特に見つからなかった。

寒いので早々に下山する。下りは別の尾根を下ることにする。緩やかな尾根の途中から支尾根に入るが見極めの難しいところだ。こちら急だが登りのような倒木はほとんどないのでこちらのほうが幾分楽な気がする。沢に出合い、沢沿いに下ると大滝橋に着いた。

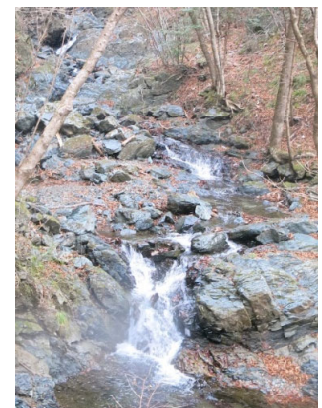
この沢が「鰐滝渓谷」とでも名付けたいような中々素敵な沢で、いつか遡行し

てみたいものだ。あとは林道を車の所まで戻る。

この付近に「鰐淵」というところがある。言い伝えでは、鰐（サメ）のことをワ

二と言っていた）生息しており、ある日村人が鰐狩りに行った。親子仲良く泳い

でいる姿を見て、狩りを止めて帰ってきた。大雨が降り周りは大洪水の被害を受けたが、村人のところは何の被害も受けなかった。不思議に思って上流に行ってみると、鰐が水を一杯飲んで身体がパンパンになった鰐たちが重なり堤防の役割



をして死んでいた。ああ、あの時の恩返しだな。

「鰐滝」という名の三角点名は、この鰐淵伝説からかも知れない。貝那夫地区の神社は「三滝神社」、この

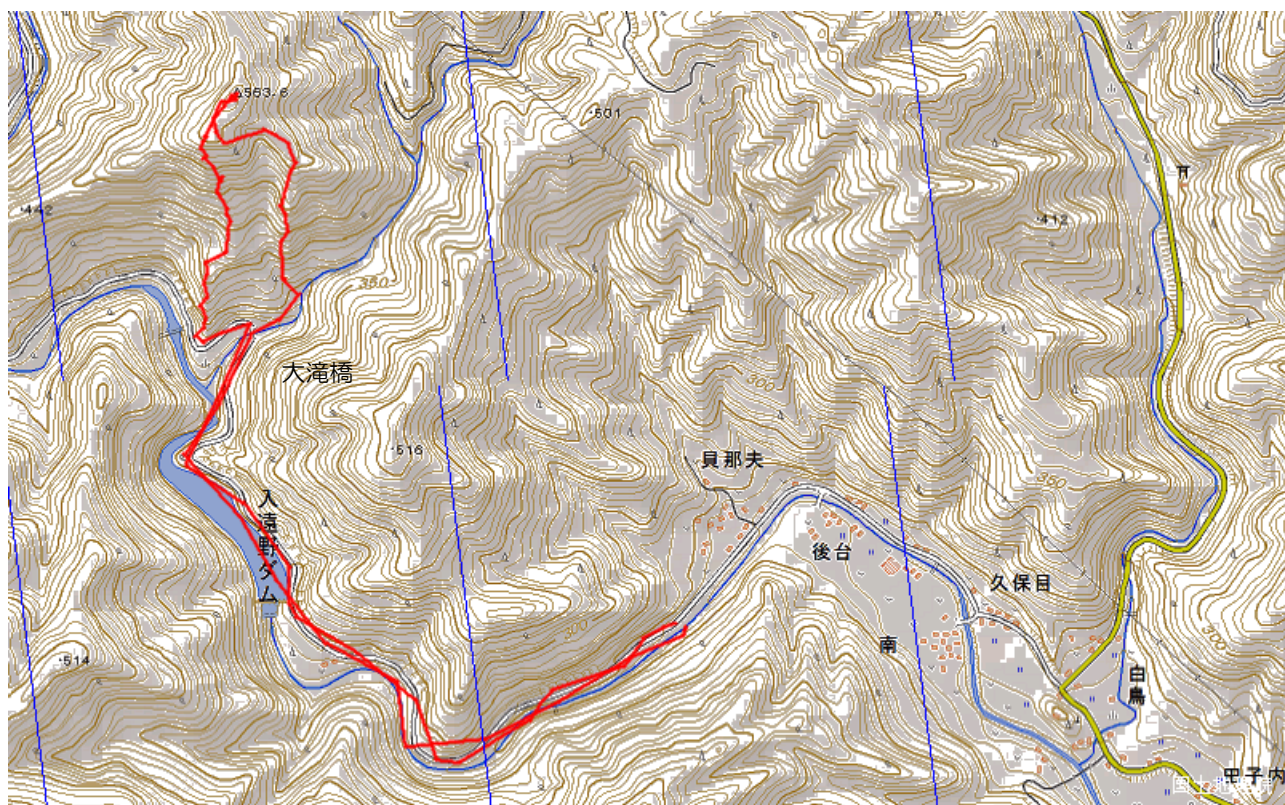
周辺には滝があるのかも知れない。

下山したら雪も止み天気良くなった。田人の御齊所山へ向かう途中の「呑気食堂」でラーメンと餃子で昼

食。何回行っても休業や臨時休業で実現しなかったが今回はセーフ。

駐車地 7:50→入遠野ダム 8:15→登山口 8:32→頂上 9:45→支尾根 10:00→
大滝橋 10:35→駐車地 11:05

(文責：秋葉)



「伊吹山」

2020年1月12日(日) 甲高

「山頂には積雪が見られる」という情報を得て、午前2時にいわき出発。近くの民家（着替え、靴洗いが可能）に400円を支払って駐車。三宮神社から上野登山口より入山料300円を入箱して出発。天気は曇りでしたが春山の風情で3合目からの琵琶湖の眺望が素晴らしいです。6合目から傾斜が急になりつづら折りの単調な登り。8合目で雪が見え始める。ずっと泥濘んだ登山道。9合目の山頂周回道分岐でようやく積雪20cm程度。用意したアイゼンやスパイクは不要でした(今年の雪不足は近畿でも深刻のようです)。そこから山頂までは100m程度で、丁度雪が降り始め展望は望めませんでした。(景観は登りながら楽しめました) 吹雪きが強くなってきたので周回道を巡って昼食を食べて早々に下山。8合目までは雪が降っていました。下山後、名古屋に行ってひつまぶしを食べて入浴。1時間ほど仮眠していわきへ戻りました。

○上野口登山口9:35—3合目10:40—5合目11:00—山頂12:15

—5合目13:24—登山口14:33

(甲高)



竜子姫伝説の「竜小山（920.5m）」

令和2年1月13日（月）

秋葉、下山田、栗崎夫婦、柏村夫婦、齋藤、小林（登山教室）、芳賀

【水石駐車場から竜小山登山口（風呂前）まで】

国道49号を郡山方面へ向かい、中三坂入口で右折し県道349号に入る。船引町東部台・板橋大橋先の交差点で右折し、都路街道（県道288号）に入る。常葉町常盤中町・郵便局先を左折し、常葉野川線（県道154号）に入る。途中、右手に鎌倉岳登山口を通過して、約1時間20分で竜子山登山口（風呂前）に到着。

【竜小山】

午前9時少し前、竜子山登山口（風呂前）で、齋藤さんと合流し、挨拶も楚々そこに、9時13分に林道を出発。9時27分、林道右手に「入口」標識があり、登山道に入る。

9時40～49分、体温調整、靴擦れ対策テーピング（栗崎さん）、靴紐の結び方（柏村さん）講習。ここから少し急な登りになるが、虎ロープが張ってある。9時57分、辰子姫神社（南竜子姫神社）に到着。花崗岩の大岩群、笹藪の急登をへて、10時31分に山頂。



風呂前登山



林道から登山道



辰子姫神社



花崗岩の大岩

山頂では、下山田さん、柏村さん提供のりんご、いちごで tea time。

10 時 46 分、下山。鳥の巣や秋葉さんの蟹山と山スキーの話を楽しんでいると、五十人山が正面に見える。

「竜子姫神社」標識で左折し竜子姫神社（東竜子姫神社）へ。その後、秋葉さんから珍しい地形の説明受け、11 時 40 分、竜子山登山口（日向前）に到着。



山頂記念写真



竜子姫神社



日向前登山口

横道地区に伝わる竜子姫伝説

かつて日本には二人の天皇が互いに正当性を争っていた南北朝時代がありました。

北朝と南朝は相互に天皇を立てるという約束によって1, 392年に合一した。しかし、その後も北朝のみが天皇を継承し約束は果たされなかった。

ところが、明治時代になって名古屋市に住む熊沢大然という人が後南朝の子孫を名乗り政府に調査を申し入れました。また戦後になっても熊沢大然の子である熊沢寛道が当時日本を統治していたマッカーサー元帥に自分こそが正当な天皇であると訴えました。熊沢親子は後南朝最後の王である信雅王の子孫であると主張したのです。

彼らの訴えによれば信雅王は応仁の乱の時山名宗全に西陣の南帝として担がれたが、山名宗全が亡くなるとふたたび捨てられたため福島県の標葉氏を頼って請戸港に渡りました。しかし、当時後南朝を支持する標葉氏は北朝支持の相馬氏に攻められたため信雅王は高瀬川上流の高野城（葛尾村）に逃れました。約2年ほど隠れ住んでいたがやはり見つかって後南朝の残党を滅ぼそうとした相馬氏軍勢に襲われました。信雅王は命からがら田村庄のお寺（都路町）に身を隠しました。そしてしばらくして尾張の時之島（愛知県一宮市）に逃れそこに住み着いたと言うのです。

この高野城攻防戦のとき王の娘であった竜子姫は王とはぐれ竜子山山中に入り悲しみのうちに自殺したのです。

さて、横道には竜子姫神社が2つあります。というのは大正15年8月正装で横道をおとずれ竜子姫神社をさがしていた男がおり、見つけたのですが地元の人に「これはちがうオオカミ神社」と言われこまった末に地元のお二人の方がお願いをされて別の場所にもう1つ奉ったということです。

オオカミ神社のお宮は菊の紋がついたお宮です。大きな岩がかさなり屋根のようになっている所に奉られています。大正になって奉られた神社も東に500mほど離れていますがまったく同じような場所です。大正15年に横道に来た男は熊沢大然本人である。そして竜子姫は熊野宮信雅王の娘であった。

明治時代このお宮を狼神社にしたのは竜子姫が忘れ去られては困ると狼に化身し放牧中の馬を食べるなどの悪さを行い気をひいたものであろう

このたび横道氏子一同にて御神体を作り直し双方とも竜子姫神社としてお奉りすることにより竜子山ふもとでくらす我々の安全、繁栄を見守りつづけることだろう。そして我々も忘れることなく参拝をつづけるものである。

「吾国山、難台山」

2020年1月16日(木)

参加者 秋葉、下山田、志尾崎、柏村、尾形、芳賀、栗崎透・容子、他2名

北関東道の友部 IC を降りて、程なく道祖神峠に到着する。

今日はここから、難台山(なんだいやま)と吾国山(わがくにさん)をピストン。

まずは、難台山に向かう。

552.8m の低山だが手前に二つのピークがある。

その二つのピークの登り下りが急斜面で息が切れる。

ただ、ここは県立公園になっていて、整備された登山道は広くて歩きやすい。

ゆっくり、休みながら登っても1時間20分くらいで難台山山頂に到着。

山頂からは、目の前に筑波山からの稜線、薄っすらと雪をかぶった那須、日光の山々が見てとれる。

それにしても、今年は雪が少ない。

道祖神峠まで、来た道に戻る。

今度は吾国山に向かう。

こちらも道の両側に桜が植樹され、整備された道だ。

そのあと、植林地をすぎると、この標高にはあまり見かけない大きなぶなが大きく枝を広げて聳えている。

ほどなく、石垣が見えてくると、吾国山神社が祀られている山頂だ。

ここからもグルっと周りの山々が見渡せて、今日は皆の行いが良いからなのか、富士山も同定できた。

来た道に戻り道祖神峠に到着。

低山ながら、二座とも急登あり、山頂からの展望良しの面白い山だった。

この後に、今日の山行のメインイベントの笠間稲荷に移動。お参りした後は稲荷門前のそば、そば稲荷、どぶろくなどを堪能し、土産にもして帰路につく。

(文責 栗崎透)





月山、二段の滝

2020年1月19日 秋葉信夫、志尾崎裕子、長谷川裕

いわき市で一番人気の山はニッ箭山。コースも色々あるがニッ箭山から月山大山祇神社のルートで、月山から下る途中に左側に見える岩峰が気になっていた。その岩峰に行ってみたいと出かけた。

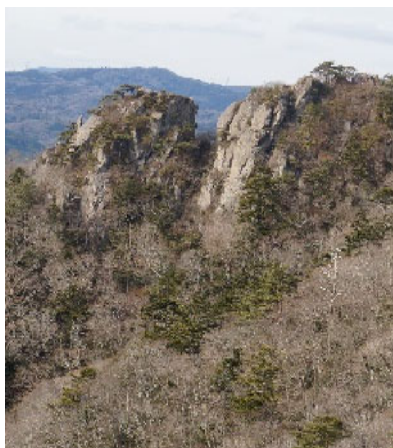
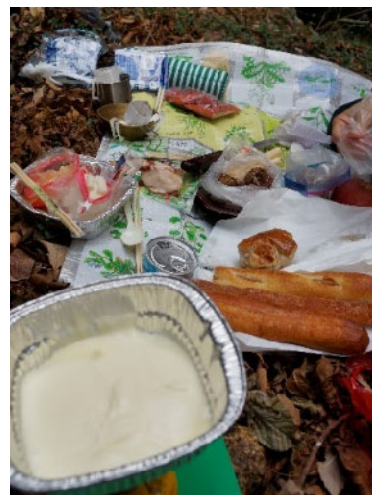
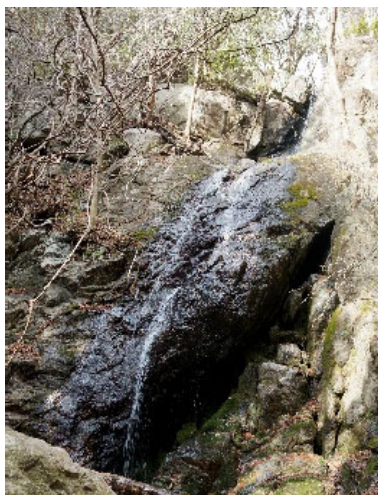
大山祇神社を過ぎると土砂崩れでそれ以上は進めないのて車を置いて歩き始める。

月山登山口を過ぎて左側は土砂崩れ防止のセメントの防護壁で取り付ける所はない。やっと取り付ける沢を辿る。

作業道跡や水が枯れている沢を辿って行くと、何と！ 美しい二段の滝が現れた。

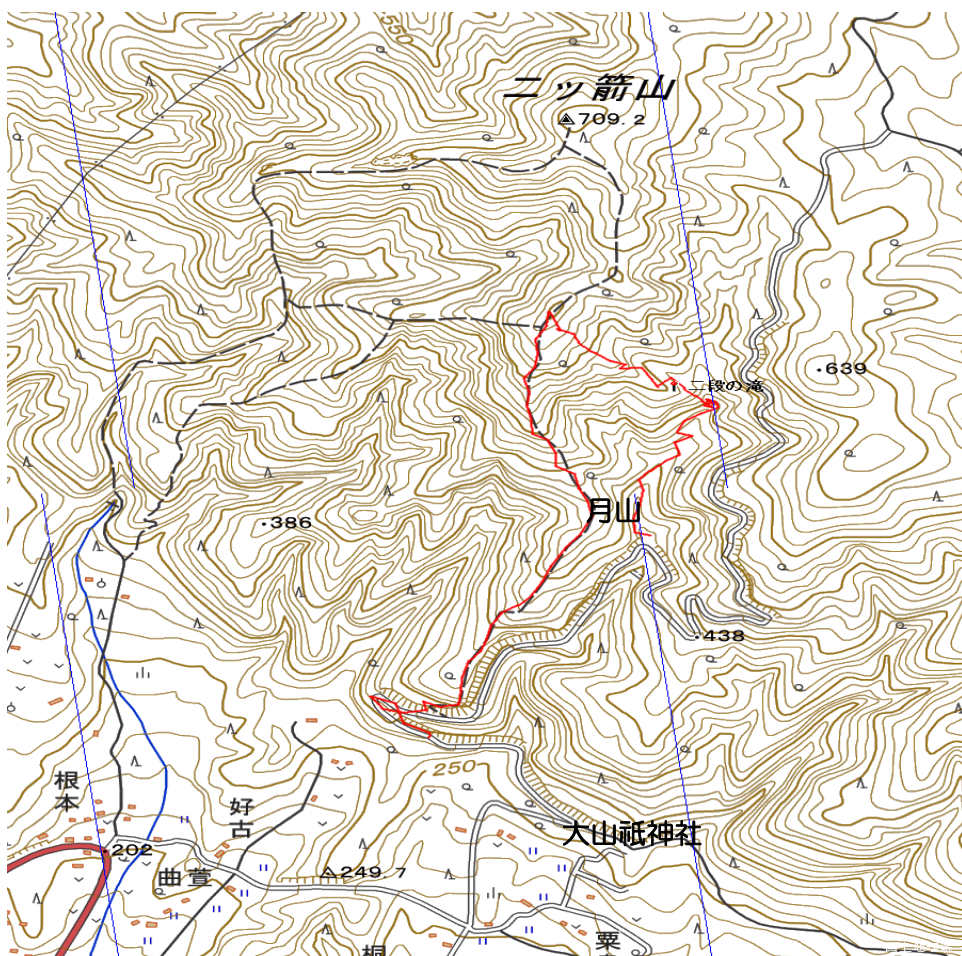
とっても清々しい所なので、ここで昼食とする。

志尾崎さんの用意してくれた、チーズフォンデュ、果物、その他諸々、とても食べきれない。



ああ 幸せだなあ～。

ここからは数漕ぎ、約40分で月山にポッコリ出る。ニッ箭山の絶好展望ポイント。あとはのんびりと登山道を下る。



取り付き 12:14 → 二段の滝 12:40～13:20 → 月山 14:00 → 月山登山口 14:40 → 大山祇神社 14:50

(文責：秋葉)

差塩三十三観音めぐり「良々堂山」

2020年1月19日（日） 太

正月の山岳会総会の翌日、前から気になっていた市内三和町の「良々堂山」に登る方がいると伺ったので、自分も行ってみた。良々堂山（ややどうさん）は差塩三十三観音で知られ、随所にある巨石に祀られた多種多様な観音様を訪ねて巡る里山で、一帯が霊場になっている。場所は国道49号の根小屋橋近くから三和町差塩に抜ける道沿いで、登山道（参道）入口には案内標柱のほか石碑が建っている。道ばたには採石が敷かれ、駐車場の表示もある。トイレはないので、少し先の「差塩湿原」公衆トイレか、手前の国道沿い支所・公民館等複合施設「三和ふれあい館」内のトイレを利用するしかない。

杉林の参道を通して、お堂の裏の一番札所から、順に三番札所まで巡り、尾根に登ると伐採地が目の前に広がる。案内板によるとその中に四番以降の札所があるとのことだが、ひとまず山頂に向かう。山頂は伐採地の上部、疎らな木立の中にあり、岩の上に「良々堂山頂上」と書かれた板が置かれ、傍らには三角点と石仏（観世音菩薩）が置かれている。三角点の案内板には「点名・矢々戸」と記されていた。伐採で山頂南斜面の一帯は荒涼としているが、見晴らしが良くなった分、水石山のレーダー、三大明神山のアンテナなど馴染みのある「いわき七峰」縦走コースのランドマーク、各山々が遠く眺められる。

ひと息ついて四番札所まで戻ると山岳会の馬場さんが率いる「登楽喜会」の皆さまが登って来られたので、その後は、あとをついて札所巡りをさせていただくことにした。頂上をはさんで伐採地の反対側にも札所が点在しており、一巡りすると最初のお堂のある場所に戻った。駐車場で「登楽喜会」の皆さまと別れ、地場産品直売所「三和ふれあい市場」に立ち寄ってから帰路についた。

（文責：太）

コースタイム

8：50 駐車場・参道入口→9：00 お堂→9：05 一番札所→9：10 三番札所→9：20 山頂
→9：35 四番札所→9：55 十番札所→10：20 二十番札所→11：00 三十番札所
→11：05 三十三番札所→11：15 お堂→11：30 参道入口・駐車場



《参道入口》



《良々堂山頂上》



《いわき七峰》

